



2021年7月15日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹

太陽生命、川崎重工業株式会社が発行するサステナビリティボンドへの投資について ～ESG投融資を通じたSDGsへの貢献～

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社(社長 副島 直樹)は、ESG投資の一環として、川崎重工業株式会社が発行する「サステナビリティボンド」(以下「本債券」)への投資を決定しましたのでお知らせいたします。

今般、当社が投資する本債券の調達資金は、同社が定めるフレームワークに基づき、自動PCR検査ロボットシステムの普及およびクリーン水素サプライチェーン構築にむけた事業へ充たされSDGs達成に向けた貢献と持続可能な社会の実現を目指します。

<概要>

発行体：川崎重工業株式会社(R&I:A-)

名称：サステナビリティボンド

※国際資本市場協会(ICMA)が公表する「グリーンボンド及びソーシャルボンド原則」に準拠したサステナビリティボンド

発行総額：100億円

償還期間：10年

資金使途：自動PCR検査ロボットシステムの普及およびクリーン水素サプライチェーン構築にむけた事業へ充当

SDGs：債権によって調達された資金は、川崎重工業株式会社の事業を通して、SDGsの下記目標の達成に向けて貢献します。



当社は、2007年3月に、日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則(PRI)」(*)に署名し、環境(E)、社会(S)、企業統治(G)の課題に十分配慮した資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取組みを進めてまいります。

以 上

(*) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。